

令和6年度 事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

一般財団法人 東洋医学研究所

令和6年度については、当財団の事業目的ならびに当初の事業計画に基づき、下記のとおり各事業を実施した。

記

I 公益目的支出計画

1. 公益目的支出計画実施状況

① 期首公益目的財産残額	63,204,050 円
② 公益目的収支差額	2,472,729 円
公益目的支出額	2,782,729 円
実施事業収入額	310,000 円
③ 期末公益目的財産残額	60,731,321 円
(当初計画との差異)	▲2,265,314 円
④ 公益目的支出計画の完了予定期末日	令和45年3月31日

※ 公益目的支出計画 (参考)

公益目的財産額 (当初)	81,586,635 円
公益目的収支差額見込額 (期間中平均)	1,690,000 円
公益目的支出計画の完了予定期末日	令和45年3月31日
公益目的支出計画実施期間	49年間

2. 公益目的財産額・純資産額推移

(単位：円)

	公益目的支出計画	① 公益目的財産残額	② 純資産額	②-①	(医療+法人損益)
H26.3 末	81,586,635	81,586,635	81,586,635		
H27.3 末	79,896,635	79,977,621	86,857,118	6,879,497	6,879,497
H28.3 末	78,206,635	78,262,165	86,331,219	8,069,054	1,189,557
H29.3 末	76,516,635	76,823,371	86,847,337	10,023,966	1,954,912
H30.3 末	74,826,635	74,776,055	86,142,392	11,366,337	1,342,371
H31.3 末	73,136,635	72,954,915	81,569,612	8,614,697	▲2,751,640
R 2.3 末	71,446,635	70,845,002	76,138,989	5,293,987	▲3,320,710
R 3.3 末	69,756,635	69,340,718	74,411,631	5,070,913	▲223,074
R 4.3 末	68,066,635	67,717,534	74,428,597	6,711,063	1,640,150
R 5.3 末	66,376,635	65,602,056	67,232,714	1,630,658	▲5,080,405
R 6.3 末	64,686,635	63,204,050	60,717,297	▲2,486,753	▲4,117,411
R 7.3 末	62,996,635	60,731,321	54,219,151	▲6,512,170	▲4,025,417

II 会議

1. 理事会

(1) 第1回 令和6年6月6日(木)

(議事)	第1号議案	令和5年度事業報告書(案)の承認について
	第2号議案	令和5年度決算報告書(案)の承認について
	第3号議案	公益目的支出計画実施報告書(案)の承認について
	第4号議案	令和6年度定時評議員会開催について
	報告事項	溝口秀雪評議員の辞任申出について

(2) 第2回 令和7年3月6日(木)

(議事)	第1号議案	令和7年度事業計画(案)について
	第2号議案	令和7年度予算(案)について
	報告事項	令和6年度業績見通しについて

2. 評議員会

(1) 定時(第1回) 令和6年6月21日(金)

(議事)	第1号議案	令和5年度事業報告書について
	第2号議案	令和5年度決算報告書(案)の承認について
	第3号議案	公益目的支出計画実施報告書について
	第4号議案	溝口評議員の退任に伴う評議員の選任について
	第5号議案	評議員会会長の選定について
	第6号議案	任期満了に伴う監事の選任について

(2) 第2回 令和7年3月6日(木)

(議事)	第1号議案	令和7年度事業計画(案)について
	第2号議案	令和7年度予算(案)について
	報告事項	令和6年度業績見通しについて

III 役員等の就任・退任

【評議員】

令和6年6月21日付で、評議員1名の辞任に伴い、新たに評議員1名を選任した。

(退任) 評議員 溝口 秀雪 (辞任)

(就任) 評議員 小川 一 (新任)

任期：令和8年6月開催の定時評議員会の終結の時まで(前任者の残任期間)

【監事】

令和6年6月21日付で、監事2名中1名の任期満了に伴い、監事1名を選任した。

(再任) 監事 太田 健三

※理事は変更なし

IV 公益事業（研究・啓発部門）

1. 研究部門

当研究所の目的である東洋医術の医学的研究活動を、基礎及び臨床におけるテーマに基づき、鍼灸並びに柔道整復分野の所内研究グループにて実施し、その成果について学会発表・学会誌投稿等を行った（計 28 題）。各グループの研究内容は以下の通り。

[鍼灸分野]

(1) 鍼灸臨床研究班

（研究員：筒井宏史研究員、丸山広美研究員、中野陽子研究員、伊丹章人研究員）

研究テーマは以下のとおり

- ・「身体局所における皮膚応答性（閾値）の比較」－生体の刺激に対する応答性とその特性について－
- ・「耳介鍼刺激（皮内鍼）による高度肥満者に対する体重減少効果」
- ・「運動が筋緊張に及ぼす影響について」（筋緊張を筋硬度計によって定量化して評価）

(2) 東洋医学研究班

（研究員：木戸正雄主任研究員、光澤弘主任研究員、東垣貴宏研究員、武藤厚子研究員、橋本隆研究員）

※ 「脈診の研究」及び「経絡系統治療システム」を継続して研究。

研究業績は論文発表、依頼講演を含め 5 題。

- ① 第 73 回全日本鍼灸学会学術大会（宮城大会）【令和 6 年 5 月 24 日～26 日】
『『黄帝内経』（水熱穴篇第六十一）における四肢の治療 - 古典文献を臨床に活かす - 』
（一般演題発表：木戸正雄研究員）
- ② 第 73 回全日本鍼灸学会学術大会（宮城大会）【令和 6 年 5 月 24 日～26 日】
「脈診訓練法の開発（第 25 報） - 脈診習得法（MAM）による脈診習得の実際 - 」
（一般演題発表：光澤弘研究員）
- ③ 第 52 回日本伝統鍼灸学会学術大会（東京大会）【令和 6 年 10 月 26・27 日】
会頭講演「東洋医学の神髄に迫る - 『黄帝内経』の治療法 - 」（講師：木戸正雄主任研究員）
- ④ 令和 6 年度第 7 回東京都委託施術者講習会【令和 7 年 1 月 19 日】
「脈診法と経絡系統治療システム（VAMFIT）」（講師：木戸正雄研究員）
- ⑤ 東洋鍼灸医学 経絡治療第 240 号 p 14～20【令和 7 年 2 月 15 日】
「脈診を初めてはじめる人のために 第 26 報～脈診習得法（MAM）による脈診習得ステップアップの実際～」
（論文発表：光澤弘主任研究員、木戸正雄主任研究員、武藤厚子研究員、東垣貴宏研究員他）

(3) 基礎研究班

（研究員：川瀬明子主任研究員 共同研究者（東京有明医療大学）：高倉伸有教授、矢島裕義教授、高山美歩准教授）

※ 「鍼灸および経皮通電刺激が体性運動神経（VFR）に及ぼす影響」、「Double-blind 鍼のマスキング効果」、「鍼の臨床研究」、「鍼の基礎研究_鍼刺激が腱血流量に及ぼす影響」を継続して研究。

(4) 経穴認知班

(研究員：小川一主任研究員、橋綾子研究員、吉田麻衣子研究員)

※ フォースフィードバック装置（触覚デバイス）による刺鍼トレーニングに向けたシステムの発展（土井教授との共同研究）、経穴認知に向けた身体操作の検討、頸部の椎骨動脈と経穴からの深さとその周辺の構造の 3D 画像化（菊池先生との共同研究）

研究結果発表は以下の 3 題。

第 73 回全日本鍼灸学会学術大会（宮城大会）【令和 6 年 5 月 24 日～26 日】

- ① 「経絡内部のエコー装置による血管の可視化 第 2 報 - ドップラ画像による陥凹感内部の構造の検討 -」全日本鍼灸学会学術大会抄録集 73 回 P 160 2024. (一般演題発表：小川一主任研究員、橋綾子研究員、吉田麻衣子研究員、土井章男特命教授（岩手県立大学）)
- ② 「頸部経穴内部の可視化及び 3D モデルの制作 第 2 報 - 後頸部経穴と筋・椎骨動脈の立体的認識 -」全日本鍼灸学会学術大会抄録集 73 回 P 196 2024. (一般演題発表：小川一主任研究員、菊池友和主任研究員、五十嵐久佳医師（東京クリニック脳神経内科）、山口智客員教授（埼玉医科大学東洋医学科）、土井章男（岩手県立大学）)
- ③ 第 52 回日本伝統鍼灸学会学術大会（東京大会）【令和 6 年 10 月 26・27 日】
「伝統的身体操作・経穴認知を客観化する」

(5) 臨床治療班（附属鍼灸院研究グループ）

(研究員：吉川信主任研究員、寺師健研究員)

講演や監修等は以下の 9 題。

<講演>

- ① 吉川 信：東洋医学—鍼灸治療，第 55 期バイオメディカル・カリキュラム，東京女子医科大学先端生命医科学研究所，2024.3.23. 東京
- ② 吉川 信：教育講演「お灸の魅力とその実際」，鬼木学園同窓会，2024.10.14. 東京

<監修>

- ③ 吉川 信：心のドキドキを抑えるツボ，素敵なあしたへ（協和発酵バイオ），2024 年 4 月号；18-19
- ④ 吉川 信：気になる歯痛を和らげるツボ，素敵なあしたへ，2024 年 6 月号；18-19
- ⑤ 吉川 信：冷えた胃腸の働きを改善するツボ，素敵なあしたへ，2024 年 8 月号；18-19
- ⑥ 吉川 信：季節の変わり目に寝付きを良くするツボ，素敵なあしたへ，2024 年 10 月号；18-19
- ⑦ 吉川 信：肩・腕の痛みを和らげるツボ，素敵なあしたへ，2024 年 12 月号；18-19
- ⑧ 吉川 信：水分不足や冷えからくる便秘を改善するツボ，素敵なあしたへ，2025 年 2 月号；18-19

<論文審査>

- ⑨ 吉川 信：代田賞選考委員会：第 48 回代田賞発表，Tehamo Vo.5 No.1；130-132.2024

(6) 自律神経研究班（研究員：菊池友和主任研究員、鈴木格研究員）

研究テーマは以下のとおり。講演、セミナー、発表等は以下の 10 題。

- ・頭頸部刺鍼の安全性の研究—深さによる研究—
- ・アップルウォッチを使用した鍼灸治療の非特異的効果と特異的効果の検討—心拍変動スペクトル解析を指標に—

- ・有明医療大学保健医療学部鍼灸学科 松浦悠人研究責任者、指導教官安野富子教授との共同研究による 3D スキャナーによる立体画像評価法を用いた顔面部への鍼施術による表情筋の変化の検証

<講演>

- ① 現代医療鍼灸臨床研究会【令和6年5月24日】
自律神経を指標とした鍼灸治療の効果とメカニズム—頭痛— (菊池友和主任研究員)

<セミナー>

- ② 第74回日本東洋医学会学術総会(大阪)【令和6年5月31日、6月1日】
「頭痛の診療ガイドライン 2021 で推奨されている片頭痛、緊張型頭痛、期待されている薬剤使用過多による頭痛に対する鍼灸治療の実際」(菊池友和主任研究員)
- ③ セイリン株式会社 円皮鍼集中セミナー～パイオネックスの活用法を学ぼう～【令和6年10月10日】頭痛に対する鍼灸治療効果を持続させるコツ (菊池友和主任研究員)

<教育講演>

- ④ (公社)全日本鍼灸学会中国四国支部 AB 講座【令和6年11月17日】
「頭痛に対する鍼灸治療 —特に自律神経に着目して—」(菊池友和主任研究員)
- ⑤ 病鍼連携連絡協議会 戦略的 卒後研修【令和6年12月21日】
「頭痛・顔面痛の臨床」(菊池友和主任研究員)
- ⑥ (公社)全日本鍼灸学会 C 講座【令和7年1月26日】
「難治性頭痛に対する東洋医学的アプローチ」(菊池友和主任研究員)

<ポスター発表>

- ⑦ 37th ICMART World Medical Acupuncture Congress (韓国_済州島)【令和6年9月27日～29日】「Mapping brain region activation patients with major depressive disorder during acupuncture stimulation: A study using arterial spin labeled MRI」*日本語訳「うつ病患者における鍼刺激中の脳領域活性化のマッピング: arterial spin labeled MRI を用いて」
Yuto Matsuura, Tomokazu Kikuchi, Satoru Yamaguchi, Haruo Yoshimasu, Hiroshi Matsuda, Fumiko Yasuno, Tomomi Sakai

<雑誌>

- ⑧ 荒木 信夫, 五島 史行, 高士 将典, 菊池 友和, 山口 智:頭痛とめまいへの東洋医学的アプローチ【『頭痛とめまい』の治療を議論する Tehamo4(2)21-37.2024.
- ⑨ 山本 彩子, 山口 智, 菊池 友和, 小内 愛, 堀部 豪, 磯部 秀之:難治性不妊症患者に対する鍼治療と漢方薬の併用効果について.全日本鍼灸学会雑誌,74(3)186-193.2024/
- ⑩ 藤田 洋輔, 菊池 友和, 山口 智, 関谷 剛, 坂本 歩, 竹治 真明「専門医との連携で金属アレルギーのリスク管理が良好であった鍼治療の1症例」 日本温泉気候物理医学会雑誌

[柔道整復分野]

- (7) スポーツ・柔整研究グループ(スポーツ外傷研究班)
(研究員:山口竜彦主任研究員、田中康文研究員、赤羽泰彦研究員、勝村洋介研究員、飯野元研究員、手島遼太研究員)
※ 「高校生スポーツ選手の身体特性と外傷との関連性の調査・研究」を継続して研究。研究結果発表は以下1題

① 第 33 回日本柔道整復接骨医学会学術大会【令和 6 年 11 月 30 日】

「超音波画像装置を用いた踵腓靭帯描出時の信頼性について」

(山口竜彦主任研究員、手島遼太研究員他)

2. 啓発部門

はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧の各資格保有者を対象に、技術の向上と研究者の育成を目的として、以下のとおり、臨床技術研修講座を開講した。

< 第 46 回臨床技術研修講座 (計 10 回) >

※参加者総数：18 名 計 10 回の延べ参加人数 149 名 講師の肩書は当時のもの

第 1 回 (令和 6 年 5 月 11 日) 「間欠跛行に対する鍼通電療法 — 神経パルスを中心として」

坂井 友実 先生 (東京有明医療大学大学院保健医療学研究科研究科長、教授、同大学附属鍼灸センター長)

第 2 回 (令和 6 年 5 月 18 日) 「スポーツと鍼灸」

宮本 俊和 先生 (元筑波大学大学院 人間総合科学研究科教授)

第 3 回 (令和 6 年 6 月 1 日) 「越石式知熱灸について」

越石 まつ江 先生 (越石鍼灸院院長)

第 4 回 (令和 6 年 6 月 8 日) 「びわの葉灸による治療の実際」

深見 哲也 先生 (深見灸院院長)

第 5 回 (令和 6 年 6 月 15 日) 「経絡治療の概要と治療の実際」

岡田 明三 先生 (経絡治療学会会長、神宮前鍼療所院長)

第 6 回 (令和 6 年 6 月 22 日) 「M-テストによる治療法」

向野 義人 先生 (元福岡大学スポーツ科学部教授)

第 7 回 (令和 6 年 6 月 29 日) 「私の考える伝統医学的診察・治療の概要と実際」

戸ヶ崎 正男 先生 (和ら会代表、日本伝統鍼灸学会相談役、蓬治療所所長)

第 8 回 (令和 6 年 7 月 6 日) 「無分流打鍼術について」

関 信之 先生 (関墨荘堂鍼灸治療院院長、無分流打鍼継承会前会長、日本刺絡学会理事)

第 9 回 (令和 6 年 7 月 13 日) 「関節リウマチに対する鍼灸治療」

粕谷 大智 先生 (新潟医療福祉大学リハビリテーション学部鍼灸健康学科 学科長、教授)

第 10 回 (令和 6 年 7 月 20 日) 「天地人治療に関する実際」

木戸 正雄 先生 (天地人治療会会長、元日本鍼灸理療専門学校教務部長)

V 収益事業 (臨床部門)

附属クリニックは、地域住民への医療サービス提供のため、昭和 50 年 1 月に開設し、その名のとおり、西洋医学と東洋医学の融合を図り、内科においては病気・疾患の治療はもちろんのこと、漢方薬を通じた病気の予防、病後の健康回復、慢性疾患の改善等の治療を行っている。また、整形外科では腰痛やひざ・足の痛み、捻挫・骨折といった外傷以外に、スポーツ整形にも力を入れている。更に平成 26 年 4 月からは自由診療の自然医療部門が加わり、様々な症状の患者様に対応してきたが、令和 3 年 3 月 31 日をもって、同部門の診療は終了した。(※ 診療体制は「1. 診療体

制」参照)

令和6年度のクリニックの運営状況は以下のとおり。

(※「2. 取扱患者数推移」「3. 医療事業収支」「4. 医療会計 部門別損益推移」も参照)

◆ 患者数

クリニック全体では、令和2年度からの5年間で最も多い患者数を記録した。診療科別では以下のとおりである。

- ・内科（漢方内科を含む）は、前年度比127.8%と大きく増加し、令和元年度以降で2番目に多い患者数となった。
- ・整形外科は、前年度比91.2%とやや減少したものの、令和元年度以降で令和5年度の次に多い患者数を記録した。
- ・リハビリテーション科は、前年度比108.1%となり、令和元年度以降で最も多い患者数となった。

◆ 収支

収入は1,141万円、支出は1,948万円で差引▲806万円の赤字となった。収入は前年度比10万円の減少、支出は前年度比20万円の減少となり、収支は前年度より赤字額が10万円縮小した。支出1,948万円の内訳は以下のとおりである。

- ・医薬品費：438万円（前年度比+12万円）
- ・人件費：1,025万円（前年度比▲44万円）
- ・経費（人件費を除く）：482万円（前年度比+12万円）